



文蔵小通信



さいたま市立文蔵小学校

336-0025 さいたま市南区文蔵5-16-29

TEL 863-0721 FAX 836-1583



【文蔵小ホームページ】

一念岩をも通す

校長 渡邊 勝利

2学期が始まり1か月が経ちました。少しずつ暑さも和らぎ、朝晩はカラッとした爽やかな陽気になってきました。日没の時間も早くなり、秋はもうそこまで来ているようです。

9月16日は文蔵小学校の53回目の開校記念日でした。昭和47年(1972年)に開校し、今年で53年目になります。校長室には、歴代の卒業アルバムや文集があります。開校1年目の卒業生の文集を見ると、将来の夢について書かれていました。当時の子どもたちの様子がよく分かり、興味深いものでした。ちなみに、どんな夢であったか集計してみました。

スポーツ選手(5人)、音楽家(4人)、歌手(3人)、料理人(2人)、デザイナー(2人)、
その他(各1人) 刑事・自衛官・議員・タクシー運転手・医者・女優・先生・鉄道関係 等
【1973年3月 文蔵小学校卒業生文集より】

約50年の間に、子どもたちを取り巻く環境や職業観は大きく変化しました。現代の子どもたちの夢はどうでしょうか。比較してみました。

1位 パティシエ(ケーキ屋)、2位 You Tubeなどのネット配信者、3位 警察官、
4位 スポーツ選手(野球・サッカー・水泳以外)、5位 医師、6位 看護師、
7位 エンジニア・プログラマー、8位 運転士、9位 歌手・アイドル 10位 サッカー選手
【2023年 小学生白書より】

こう見ると、現代の子どもたちの方が、職業はバラエティに富み、華やかなものが多いように思われます。選べる職業も多いのかもしれませんが。ただし、夢や職業に対する熱量はどうでしょうか。実際接してみると、今の子どもたちからはあまり感じません。ところが、50年前のアルバムからはその熱量がはっきりと伝わってきました。

ハーバード大学のある調査によると、「84%の学生は目標を持っていない。13%の学生は目標を持っているが、紙には書いていない。3%の学生は、目標を持っており、それを紙に書いている。」という結果になりました。それから10年後、同じ人物(学生)に調査をすると、「10年前に目標を持っているが紙には書いていなかった13%の人の平均年収は、目標を持っていなかった84%の人たちの約2倍になった。さらに、目標を紙に書いていた3%の平均年収が、残り97%の人たちの10倍以上になった。」と、驚くべき結果になりました。

では、なぜそのような違いになったのでしょうか。実際、成功者や大きな成果を出した人は、目標を紙に書き、常に持ち歩いたり、毎日目にする場所に貼ったりした方が多いようです。紙に書いた目標を何度も見返すことにより、目標に対する意識が高まったのだと思います。

「一念岩をも通す」ということわざがあります。「一念」とは、そればかりをずっと思い続けることであり、思い続けた思いは、やがて大きな岩さえも突き通してしまうということです。「100点をとりたい。」「試合に勝ちたい。」「○○になりたい。」など思っても、岩をも突き通すくらいに強い思いを持ち、努力を続けることは難しいかもしれません。しかし、何も考えずに日々なんとなく過ごす人と岩をも突き通すくらい思い続けている人では、10年後には大きな違いが出てしまいます。私自身の出会いの中でも、やはり成功した人は「一念」を持っている人が多かったように思います。例え成功しなくても、その過程で得たものは、違う道に進んでも生き方や考え方に反映され、人生を豊かなものにしてくれると確信しています。文蔵小学校の皆さんも、「一念岩をも通す」気持ちで挑戦できる勉強やスポーツ、趣味等を見つけてほしいと願っています。



さて、10月12日(土)は、文蔵小学校の運動会です。スローガンは「協力し合い 正々堂々と最後まであきらめない 運動会」です。運動会はお互いのことを尊重し、助け合いながら創り上げていく活動です。子どもたちの頑張りや成長した姿をご覧いただくことができると思います。温かいご声援を宜しく願います。